

令和4年度中間貯蔵施設整備等影響緩和交付金基金事業状況報告書

(基金の運用実績)

(単位：千円)

| 事業区分 | 基金の 保有区分 | 令和4年度 当初保管額 | 運用益繰入額 | 令和4年度 支出済額 | 令和4年度 年度末保管額 | 今後の 支出予定額 | 保有 割合 |
|------------------------------|-------------|----------------|--------|---------------|-----------------|--------------|----------|
| 中間貯蔵施設整備等 影響緩和交付金 基金事業 | 地方債 | 10,000,000 | 0 | 0 | 10,000,000 | 10,000,000 | 1.0 |
| | 定期預金 | 31,431,012 | 5,136 | 1,500,000 | 29,936,148 | 29,936,148 | 1.0 |
| | 普通預金(注) | 1,558,462 | 41,800 | 39,597 | 1,560,665 | 1,560,665 | 1.0 |
| 合計 | | 42,989,474 | 46,936 | 1,539,597 | 41,496,813 | 41,496,813 | 1.0 |

(注) 普通預金の運用益繰入額は地方債の運用益の振り替え。

- ※ 本表は基金の保有区分ごとに記載すること。
- ※ 基金の保有区分は、実施要領第3の1で定める「基金の運用方法」を参考に記載すること。
- ※ 運用益繰入額は、当該年度に基金の運用によって生じた果実の金額を記載すること。
- ※ 支出済額は、当該年度内に支出負担行為を行い、出納整理期間に支出をしたものを含む。ただし、当該年度に債務負担行為のみを行ったものについては含まない。
- ※ 保有割合は、補助金等の交付により造成した基金等に関する基準（平成18年8月15日閣議決定）に従い算出すること。（通常の出崩し型事業であれば、「平成〇年度末保管額／今後の支出予定額」により算出すること。）

令和4年度中間貯蔵施設整備等影響緩和交付金基金事業状況報告書

(基金事業の結果)

| 事業名 | 事業実施主体 | 事業経費（千円） | | | | | | 目標 | 目標達成度・評価 | 事業結果 (事業の目的・内容・完了期日、 経費の使用方法・内訳を含む。) |
|-------------------|--------|------------------|---------|------|----|------------------|---------|--|---|---|
| | | 基金充当費 | | 単独経費 | | 合計 | | | | |
| | | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | | | |
| 大熊町スマートコミュニティ整備事業 | 大熊町 | 924,000 | 910,033 | 0 | 0 | 924,000 | 910,033 | 中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、生活空間の維持・向上のための事業として、町内における消費電力の制御のためのスマートコミュニティを整備する。 | スマートコミュニティの整備に向けた業務を円滑に遂行できていることから、目標を概ね達成したと認められる。 | <p>【目的】 大熊町内にスマートコミュニティを整備することで、町内における消費電力を削減し、生活空間の維持・向上に資することを目的とする。</p> <p>【内容】 上記目的を達成するため、令和4～5年度にスマートコミュニティ整備事業を実施する。</p> <p>【完了期日】 令和5年3月31日</p> <p>【経費】 発注者支援 9,130千円（前払金） 実施設計費 30,830千円（前払金） 工事費 841,482千円（前払金） 工事監理費 28,591千円（前払金） PM業務 0円</p> |
| ゼロカーボン補助金交 | 大熊町 | 423,000 (補正後) | 17,468 | 0 | 0 | 423,000 (補正後) | 17,468 | 中間貯蔵施設の整備等によ | 16件の申請者に対し、円 | <p>【目的】 大熊町内における省エネ事業に補助金を交付</p> |

| | | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----|---------|---------|---|---|---------|---------|---|--|---|
| 付事業 | | 18,407 | | | | 18,407 | | る影響を緩和するため、生活空間の維持・向上のための事業として、省エネ事業に補助金を交付する。 | 滑に補助金を交付し、町内における省エネを推進することができたことから、目標を概ね達成したと認められる。 | することで、省エネを推進し、生活空間の維持・向上に資することを目的とする。 【内容】 上記目的を達成するため、令和4年度より対象事業に補助金を交付する。 【完了期日】令和5年3月31日 【経費】補助金 17,468千円 |
| 大川原地区 公営住宅太陽光システム整備事業 | 大熊町 | 393,448 | 314,986 | 0 | 0 | 393,448 | 314,986 | 中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、生活空間の維持・向上のための事業として、公営住宅に太陽光システムを整備する。 | 公営住宅に太陽光システムを整備し、町内における省エネを推進推進することができたことから、目標を概ね達成したと認められる。 | 【目的】 大熊町内の公営住宅に太陽光システムを整備することで、省エネを推進し、生活空間の維持・向上に資することを目的とする。 【内容】 上記目的を達成するため、大川原地区の公営住宅に太陽光システムを整備する。 【完了期日】令和5年3月9日 【経費】 工事費 308,441千円 工事管理費 6,545千円 |
| 大川原地区 公共施設再 | 大熊町 | 293,145 | 277,200 | 0 | 0 | 293,145 | 277,200 | 中間貯蔵施設の整備等によ | 太陽光パネルの仕入れ元が | 【目的】 大熊町内の公共施設に再生可能エネルギー設 |

| | | | | | | | | |
|-----------------------|--|--|--|--|--|--|---|--|
| <p>生可能エネルギー設備整備事業</p> | | | | | | | <p>る影響を緩和するため、生活空間の維持・向上のための事業として、公共施設に再生可能エネルギー設備を整備する。</p> <p>倒産したことにより、荷重や電気系統の変更による設計の見直しが必要となり、事業が大幅に遅延したため、当該事業を令和5年度へ繰り越す必要が生じた。</p> <p>※当該事業の予算繰越に当たり、基金から一般会計に繰り入れたことから、支出したものと記載している。</p> | <p>備を整備することで、省エネを推進し、生活空間の維持・向上に資することを目的とする。</p> <p>【内容】 上記目的を達成するため、大川原地区の公共施設に再生可能エネルギー設備を整備する。</p> <p>【完了期日】 令和5年度へ繰越 (令和5年12月16日完了予定)</p> <p>【経費】 工事費 275,000千円(全額繰越) 工事監理費 2,200千円(660千円支出済、残額1,540千円を繰越)</p> |
|-----------------------|--|--|--|--|--|--|---|--|

| | | | | | | | | | | |
|---------------------------|-----|--------|--------|---|---|--------|--------|---|--|---|
| 大熊インキュベーションセンター交流イベント実施事業 | 大熊町 | 19,910 | 19,910 | 0 | 0 | 19,910 | 19,910 | <p>中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、ふるさととの結びつきを維持するための事業として、大熊インキュベーションセンターにおいて町民交流イベントを実施する。</p> | <p>町民交流イベント実施にあたり、委託先との連携を密にし、円滑に業務を遂行することができたこと、当日は1,500名超が来場し盛況であったことから、目標を概ね達成したと認められる。</p> | <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の思い入れのある大野小学校を改修した大熊インキュベーションセンターで交流イベントを実施することで、避難中の町民と町とのつながりを維持することを目的とする。 ・町民と移住者との交流を通じ、町内コミュニティ形成に寄与する。 ・避難指示解除区域でのイベントを実施することで復興をアピールし帰還意欲を高める。 <p>【内容】</p> <p>上記目的を達成するため、大熊インキュベーションセンターにおいて町民交流イベントを実施する。</p> <p>【完了期日】 令和5年3月24日</p> <p>【経費】 業務委託費 19,910千円</p> |
|---------------------------|-----|--------|--------|---|---|--------|--------|---|--|---|